

エ. 浮き上がり防止のアンカー等の設置（肩部分の補強）

台風の襲来が予想された場合に、1～2日前までに図-12～図-14のような方法で、強風により破損しやすいパイプハウスの肩部分の補強を行います。原則的には、強風が予想されるハウスの風上側に設置します。下図①～③の補強方法を併用することにより、さらに強度が増します。また、肩の部分の補強する外部補強金具（図-14）は、パイプハウス専用開発された器具が市販されています。

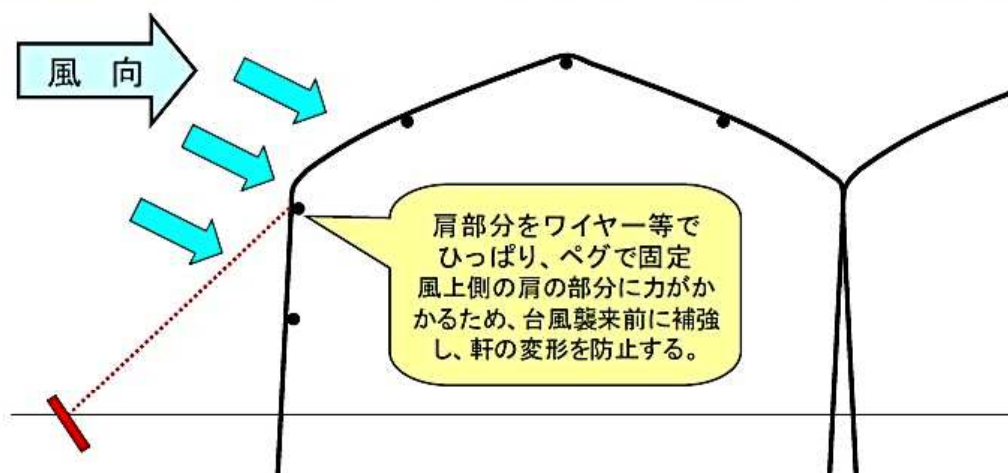


図-12 パイプハウスの肩部の強化事例 ①
(引っ張り器具)

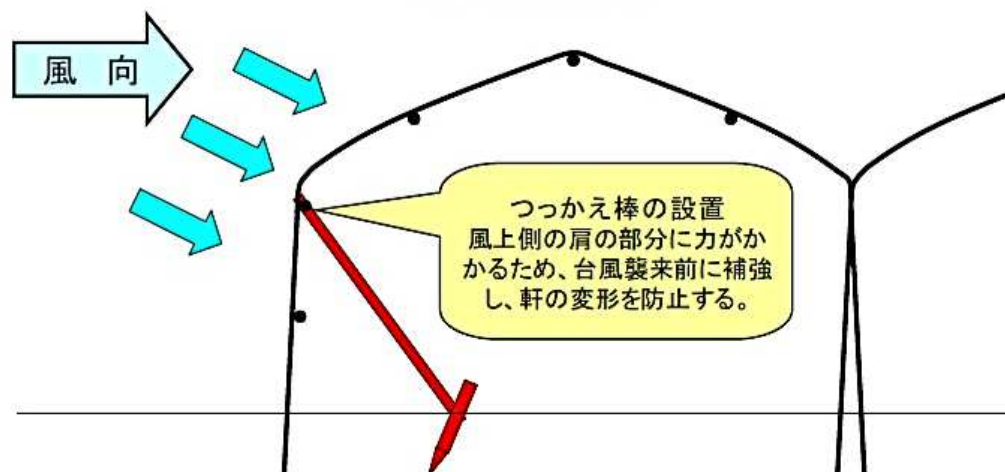


図-13 パイプハウスの肩部の強化事例 ②
(つかえ棒)

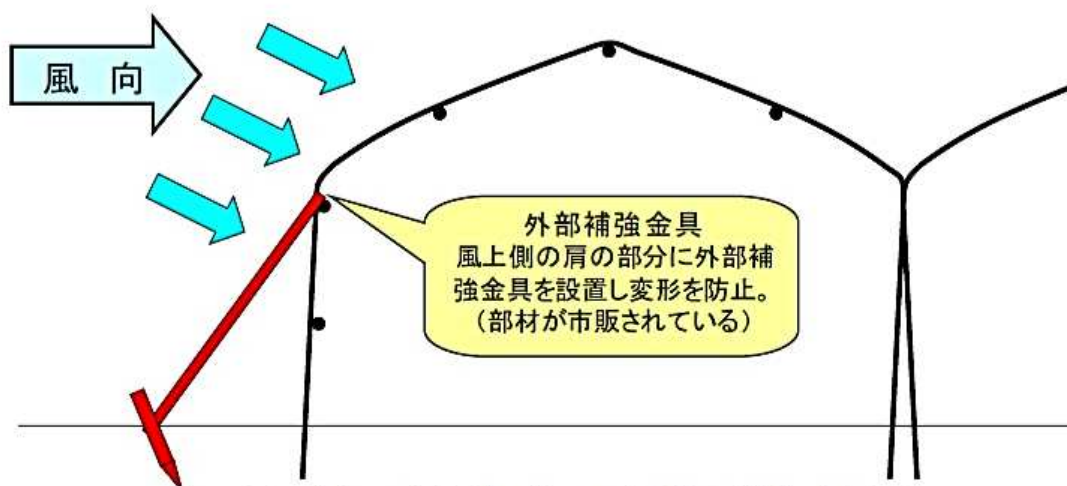


図-14 パイプハウスの肩部の強化事例 ③
(外部補強金具)